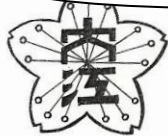


今日はちょっと曇りでよかったですのですが、昨日まで本当に暑かったですね。熱中症予防対策にドキドキしています。体育の時はマスクを外し、こまめに水分を取らせています。登校時低学年の子どもたちが首から大きな水筒をさげている姿に、重いだろうな～大変だろうな～と思います。本校は水道の蛇口数が少なくすみません・・・



# 大江の風

6月2日  
No.28



## 『6月はいじめ根絶月間』

6月は、全市的に「いじめ根絶月間」に設定されています。各学年で、発達段階や実態に合わせて学習を進めていきます。「いじめに関するアンケート調査の実施」や「個別の教育相談の実施」「校長のいじめに関する講話」「差別や偏見のない社会実現に努める心を育てる授業」など、いじめを許さない啓発活動を行っています。

今日の学校朝会の校長講話では、「神様が1日だけ魔法をかけてしゃべれるようにしてくれたら・・・」と以前産経新聞に掲載された大阪府の小学6年生、森琴音さん(12)の詩を紹介しました。彼女は事故にあい、その後遺症で肢体不自由となり言葉も失いました。願いがかなうなら、「ただいま」と言ってみよう、お兄ちゃんに電話をかけたい、そして魔法がとける前に家族に「おやすみ」と言いたいー「それでじゅうぶん」と綴っています。普通に会話ができることに隠された幸せがある・・・琴音さんは「言葉って、とても大事なもの」だと教えてくれました。なんか胸がじゅんとときませんか？

そして「いじめ防止対策推進法第2条第1項」に書いてある「いじめの定義」を教えました。とても難しい言葉なので、下の図を示し、心身の苦痛の具体的な場面を見せました。そして「第4条児童等は、いじめを行ってはならない。」にのっとり、いじめは決して許されないことだと話をしました。



今回、森琴音さんの詩を紹介したのは、大江の子どもたちには、もっと言葉を大切にしてほしいと思ったからです。言葉は、時に心を切り裂くおそろしいナイフにもなります。どんな言葉を相手におくるか、どんな思いを伝えたいか・・・みんなに考えてほしいです。

「わたしの願い」 森 琴音  
わたしは しゃべれない 歩けない  
口が うまく うごかない  
手も 足も 自分の思ったとおりのうごいてくれない  
一番 つらいのは しゃべれないこと  
言いたいことは 自分の中に たくさんある  
でも うまく 伝えることができない  
先生や お母さんに 文字盤を 指でさしながら  
ちょっとずつ 文ができあがっていく感じ  
自分の 言いたかったことが やっと言葉になってゆく  
神様が 一日だけ 魔法をかけて しゃべれるように  
してくれたら・・・  
家族といっぱい おしゃべりしたい  
学校から帰る車をおりて お母さんに  
「ただいま！」って言う  
「わたし、しゃべれるよ！」って言う  
お母さん びっくりして 腰を ぬかすだろうな  
お父さんと お兄ちゃんに 電話して  
「琴音(ことね)だよ！早く帰ってきて♪」って言う  
二人とも とんで帰ってくるかな  
家族みんながそろったら  
みんなでゲームをしながら おしゃべりしたい  
お母さんだけはゲームがへたやから負けるやろうな  
「まあ、元気出して」って わたしが言う  
魔法が とける前に 家族みんなに  
「おやすみ」って言う  
それで じゅうぶん

## 6月は『いじめ根絶(こんぜつ)月間』

いじめの定義

いじめ防止対策推進法 第2条第1項  
この法律において「いじめ」とは、児童生徒に対して、当該児童生徒が在籍する学校に在籍している当該児童生徒と一定の人間関係にある他の児童生徒が行う心理的、または物理的な影響を与える行為(インターネットを通じて行われるものも含む)であって、当該行為の対象となった児童生徒が心身の苦痛を感じているものをいう。



校長先生がみんなに言いたかったこと  
言葉って とても大事なもの・・・

大江小学校では こんな言葉はいらない！

うざい くさい きもい きえろ きらい  
しね ばか あほ ちかよるな あっちにいけ

言葉は時にはナイフになります。人の心をさします。

あなたは、ともだちに  
どんなことばを おくりますか？  
どんなおもいを つたえたいですか？